

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

1 大会の参加

- (1) 選手、補助員の参加は、同意書(別紙2-1)を提出したものに限り。
- (2) 各学校は同意書を取りまとめ保管し、大会の申し込みと同時に、証明書(別紙2-2)を提出する。

2 感染防止対策

(1) 主催者対策

- ① 大会前日までに、37.5℃以上の発熱が3、4日続いた日があったり、極度の咳・倦怠感などの症状があったものについては大会に参加させない。
- ② すべての関係者(役員・審判員・選手・補助員・監督・顧問)に、事前の健康観察及び検温を実施させ、37.5℃以上の発熱者や体調不良者は大会に参加させない。
- ③ すべての来場者にマスクを着用させ、手指消毒などを励行させる。ただし、登山行動中はマスクを着用しない。
- ④ 大会開催中は、登山行動中も含めて、可能な限りアルコール等による手指消毒をさせる。
- ⑤ 大会開催中は、登山行動中も含めて、大きな声で会話等をしない。
- ⑥ ゴミ処理での感染を防止するため、ゴミ箱を設置せず、すべてのゴミを各自の責任で持ち帰る。
- ⑦ 感染防止のために、主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

(2) 参加校対策

- ① 監督、顧問、選手、補助員は試合当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表(別紙3)を学校毎に作成し提出の上、顧問は参加部員の体調管理に努める。
- ② 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ マスクを持参する(参加受付時や開・閉会式、監督・リーダー会議、天気図作成・ペーパーテスト等の筆記試験の際や会話をするときにはマスクを着用すること)。
- ④ ミーティング等は密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- ⑤ 水分補給は各自で準備し、コップを共用や飲み回しなどを行わない。

(3) メディア関係者対策

- ① 来場したメディア関係者は受付で感染防止チェック及び検温確認表(別紙4)への記名を行う。また、必ず検温し37.5℃以上の場合は入場を断る。
- ② 取材は指定の場所とし、チーム関係者とメディア関係者は2m以上離れる。

3 関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

- (1) 関係者(役員・審判員・選手・補助員・監督・顧問)から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、主催者は大会の継続もしくは中止を検討する。